



移して改築された社務所（平成10年9月）

当社の社務所は、記録によると明治二十八年（1894）建築とされているが、それ以前に建築されていたかは不明である。  
その後、昭和三十二年に改築が行われ、基礎をコンクリートに改め、炊事場、風呂、便所、座敷板等ができるだけ再利用した。また、昭和五十年には六畳、四畳半の増築及び内部の改築が行われた。  
平成十年廣山宮司退任と共に、それまで社務所兼職舎として使用していた社務所の改築を行

い、社務所と職舎とを分離し、新たな社務所を氏子の寄附により随神門東へ移して改築する事となった。  
平成十年二月十五日に地鎮祭、同四月十九日には上棟祭が行われ、同九月二十七日に総代、関係者参列のもと社務所内で竣工祭が行われた。  
改築された社務所は、寄棟造りの平屋建て二一、三坪で、施行は株式会社ノザキ工業があった。



社務所上棟祭（平成10年4月19日）



鶴崎神社社務所竣工記念 平成10年9月27日



社務所基礎工事（平成十年四月十日）



社務所竣工祭（平成十年九月二十七日）



旧社務所として使用されていた宮司職舎

手を清めます。  
そして最後に、また柄杓を右手に持ち換え、水を汲み、その水を左の掌に受け、その水で口をすすぎます。柄杓に直接、口はつけません。  
**社務所**  
明治以前までは、祈禱は殆ど神職の私宅で行っており、特定の祭儀や神事が行われる日だけに、関係者が神社に参集していたので、社務所

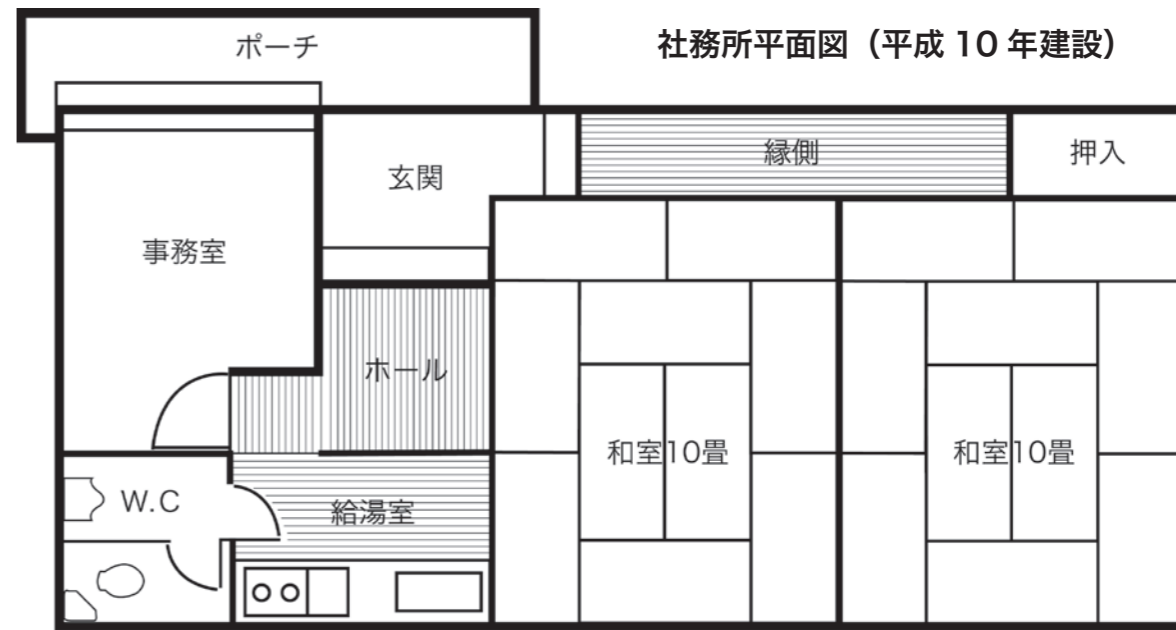
所を建てる必要性がなかったが、明治以降神社が国家管理の下に置かれたため、神職詰め所、その他を備えた社務を執行する事務所が必要となり、設置された。伊勢神宮では神宮司庁という。



（昭和50年増築・改修社務所平面図）



（昭和32年改築社務所平面図）



社務所平面図（平成10年建設）